



山形県農林水産部県産米ブランド推進課
山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部
山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト本部

全国ブランド米生産者交流大会in山形 ～最高の米づくりにはプライドがある～

～大会宣言～

- 一つ、私たちは、全国のコメ産地の方々と交流を深めます。
- 一つ、私たちは、更に技術を磨き、安全で、品質の高い、心のこもったおいしいお米を消費者にお届けします。
- 一つ、私たちは、交流で出会った仲間とともに、世界に誇れる「和食」の中心「ごはん」という日本の食と文化を守っていきます。
- 一つ、私たちは、ブランド米づくりに注ぐエネルギーを産地全体に広め、農村を笑顔にします。そして、コメ産地の元気を日本の元気につなげていきます。



全国のブランド米を目指す生産者、ここに集結。

11月11日(月)～12日(火)、山形テルサ(山形市)で「全国ブランド米産地生産者交流大会 in 山形～最高の米づくりにはプライドがある～」を開催しました。

この大会は、「産地や品種の垣根を越えて最高のコメづくりに挑んでいる全国の仲間たちと交流したい!」という本県の生産者の強い思いから、「つや姫マイスター」を中心とした生産者が実行委員となり実現しました。

北は北海道から南は宮崎県まで、全国22道県のコメ生産者や関係者約500名が集まり、こだわりの栽培技術やブランド化に向けた取組みなどについて情報交換が行われました。

実行委員からは「他産地の生産者や関係者の熱意に驚かされた。彼らと共に、コメ産地から日本を元気にしていきたい」という声が聞かれ、ブランド米を目指す者同士が顔を合わせながら語り合う貴重な時間となりました。

このつながりを今後も大切にし、大会宣言を全国の仲間とともに実現して参ります。



- 1 各産地ののぼりがステージを彩りました
- 2 大会宣言を行う副実行委員長の鈴木仁氏
- 3 あいさつをする実行委員長の土屋喜久夫氏
- 4 講演を行う大坪教授(新潟薬科大学)

基調講演

コメの食味研究の第一人者である新潟薬科大学の大坪研一教授と、月刊「食糧ジャーナル」の鶴田裕編集部長から



ご講演いただきました。題目はそれぞれ「おいしいコメのメカニズムを探る」「これからの米産地とブランド米が果たす役割」。「ブランドを支えるのは生産者の高い意識だ」との鶴田編集部長の言葉に、皆さんの目にはエネルギーがみなぎっていました。

現地研修

(株)山本製作所(東根市)では、コメの乾燥機等を製造する過程を見学。皆さん性能を細かく確認するとともに、



、自分が使用している機械について情報交換を行っていました。また、(株)六歌仙(東根市)では、酒米の精米施設や酒蔵を見学。おいしい酒造りには質の高い酒米が不可欠であることを改めて実感しました。

グループディスカッション 「こだわりの良食味栽培技術」「産地における特徴的な取組み」「米産地におけるブランド戦略」の3テーマに分かれてグループディスカッションを行いました。



「米産地におけるブランド戦略」では、土屋実行委員長が、自ら村長を務める「つや姫ヴィラージュ」の取組みを紹介。地域の「つや姫」の田んぼを集めて団地化することで、集落全員でコメづくりについて話し合いながら技術を向上させた経緯を説明しました。県外の皆さんは、地域のリーダー的存在である「つや姫マイスター」にも興味津々の様子でした。

また、北海道や富山県の参加者からも「ゆめぴりか」「富富富」のPR活動の状況など話題提供があり、産地・品種を越えてコメのブランド化について語り合う有意義なディスカッションとなりました。

ブランド米試食コーナー 「うちのコメ食べてみて！」と全国19産地から集まった各産地自慢のコメを、最新の炊飯器を使って炊き上げ、試食を行いました。自分で生産している品種以外を食べる機会が少ない参加者の皆さん。様々な品種を食べ比べ、食感や味の違いなどを舌で感じ、「食べたときの印象が品種ごとにまるで違う！」と良い刺激を受けた様子でした。



利き飯チャレンジ! 品種名を隠して皿に盛られた本県産「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」「コシヒカリ」「ひとめぼれ」を食べ、品種名を当てるこのチャレンジ。品種特性の熟知度が試されます。挑戦者は多数、されど全問正解者はほんの一握り! 「どれもうまい」と困ったように笑う挑戦者の姿もちらほら…。

産地PRコーナー

各産地がポスターやパンフレットなどを展示し、産地をPR!参加者は、趣向を凝らした各産地のブースを



巡り、展示品に目を通していました。なかには、手書きで大判用紙にアピールポイントをまとめた産地や、コメのつかみ取りを行う産地もあり、「この産地に行ってみたい」「このコメを食べてみたい」と、皆さんお気に入りの産地を見つけていました。

コメ診断機器等展示コーナー

静岡製機(株)、(株)サタケ、(株)ケツト科学研究所、(株)山本製作所、(株)ビジョンテックがコメに関わる機器などを展示。



コメの乾燥機の稼働状況をタブレット等で離れた場所から確認できる商品などを紹介しました。

企業の担当者の説明を熱心に聞く方も多く、スマート農業や最新の農業機器への関心の高さがうかがえました。